

平成17年6月9日

第8回 フェスティバル・ド・ジャポン(日本祭り)における  
文化交流ワークショップへの参加について  
(開催地:ブラジル・サンパウロ市)

1. 目的と参加のきっかけ

第8回フェスティバル・ド・ジャポンの実行委員長に就任された奈良県人会の会長が、事業の協力依頼のため、昨年9月に来寧。奈良県からの推薦を受け音声館へ来館され、世代間交流をキーワードに、歌い遊ぶ「ならまちわらべうた教室」の子どもたちの様子を見学。また、奈良市民を中心に構成される劇団「良弁杉」のミュージカル公演や民話の語りなどの活動について説明を受け、感銘を受けられるとともに、大変興味を持たれ、帰国後、音声館へ出演依頼があった。

フェスティバルでは、わらべうた遊びや紙芝居・一人芝居などの実演を通して“奈良の文化”を紹介する。また、音声館の主催事業である創作ミュージカル「二月堂良弁杉」や「ならまちわらべうた教室」の紹介を通して、現地の方との交流を図ると共にブラジルのわらべうたを聞き取り、採譜したわらべうたを日本へ持ち帰り日本で紹介する。

2.開催日 平成17年7月15日(金)～17日(日)

3.開催場所 ブラジル・サンパウロ州 サンパウロ市 聖州農務局イベント広場

4.主催 ブラジル日本都道府県人会連合会

5.おもな内容

1.メインステージでの発表(30分)...7月16日、17日の2日間実施。

日本の歴史、四季、祭事などを、童謡・唱歌の歌唱、奈良のわらべうた遊び(音声館スタッフ)、一人芝居(劇団「良弁杉」演出家、演出助手)を通して紹介する。また、1日目はブラジル人の子どもたちと、2日目は現地日本人学校の子どもたちとの共演が予定されている。(共演曲目:「さくらさくら」、「夕やけ小やけ」)

2.子ども広場での遊び(120分)...7月16日、17日の2日間実施。

音声館スタッフによる奈良のわらべうた遊びや、劇団「良弁杉」演出家による紙芝居などを地元の子どもたちを対象に紹介し、交流を図る。

## 6.その他

### < 行 程 >

- 7月11日(月)伊丹 発 羽田 = 成田 ロサンゼルス
- 12日(火) サンパウロ着
- 13日(水)大島学園(日本人学校)訪問 予定
- 14日(木)現地交流
- 15日(金)ブラジルの子どもたちと合同リハーサル
- 16日(土)フェスティバル・ド・ジャポン 本番  
(Casa do Zeninho の子どもたちと共演)
- 17日(日)フェスティバル・ド・ジャポン 本番  
(大島学園の子どもたちと共演)
- 18日(月)サンパウロ 発
- 19日(火) (機内泊)
- 20日(水)伊丹 着

### < 経費について >

国際航空運賃は、独立行政法人国際交流基金「市民青少年交流助成」の交付金(100万円)にて賄う。現地滞在費や食費は、在伯奈良県人会が負担。

### < フェスティバル・ド・ジャポン(日本祭り)について >

日本文化の普及をテーマに、サンパウロ州公認行事として開催され、ブラジル全土に住む日系ブラジル人を対象とした催し。ブラジル社会への日本文化の融合の高さを示すよい機会として、各県人会が郷土芸能や郷土料理を日系人に継承させることを主な目的とし、毎年、日本からも多数の団体が参加している。昨年の観客数は、3日間で約45万人を超えた。

- 7.備考 フェスティバル・ド・ジャポン参加以外にも、奈良県人会の仲立ちにより、現地日本人学校を訪問し、わらべうた遊びや紙芝居「二月堂良弁杉」を披露する予定。

問い合わせ先  
奈良市音声館  
電話 0742 - 27 - 7700  
FAX 0742 - 27 - 7732